

2018年5月4日
在リオデジャネイロ日本国総領事館

リオ州の治安情報

『バビロニア（スラム街）』及び『シャペウ・マンゲイラ（スラム街）』における銃撃戦の発生（4日早朝）

本日早朝、リオ市南部レーメ地区の『バビロニア（Babilônia）』及び『シャペウ・マンゲイラ（Chapéu Mangueira）』において、治安当局及び麻薬密売組織間における銃撃戦が発生しました。

【当館から】

本件は、麻薬密売組織間抗争に絡む掃討作戦の一環と見られており、最近当該スラム街に対する掃討作戦が度々実施されています。今後も継続的な掃討作戦が予想されるとともに、当該スラム街はアベニーダ・アトランチカ大通りの北方至近に位置していることから、流れ弾の危険性が大ですので、同スラム街周辺への通行は避けて下さい。